

自動車騒音の面的評価結果

面的評価支援システム（環境省）により自動車騒音の面的評価を実施し、評価結果を全体、評価区間別にまとめて評価を行った。

① 面的評価結果（全体）

今年度の評価区間の面的評価結果は、表 9 及び図 5 に示すとおりである。

環境基準値達成率（昼間・夜間とも環境基準値以下であった住居等の割合）は、全体で 97.4% と高い割合であった。近接・非近接空間別では、近接空間で 89.3%、非近接空間で 98.8% であり、近接空間の環境基準値達成率が非近接空間よりも低い値であった。

騒音実測値の夜間が環境基準値を超過しており、その影響等で環境基準値達成率の減少がみられた。

表 9 自動車騒音の面的評価結果（全体）

項目	面的評価結果(戸数)					面的評価結果(%)				
	評価対象 住居等 戸数 a=b+c+d+e	昼間・夜間 とも基準値 以下 b	昼間のみ 基準値 以下 c	夜間のみ 基準値 以下 d	昼間・夜間 とも基準値 超過 e	評価対象 住居等 戸数 a=b+c+d+e	昼間・夜間 とも基準値 以下 b	昼間のみ 基準値 以下 c	夜間のみ 基準値 以下 d	昼間・夜間 とも基準値 超過 e
全体	193	188	3	0	2	100.0	97.4	1.6	0.0	1.0
近接空間	28	25	3	0	0	100.0	89.3	10.7	0.0	0.0
非近接空間	165	163	0	0	2	100.0	98.8	0.0	0.0	1.2

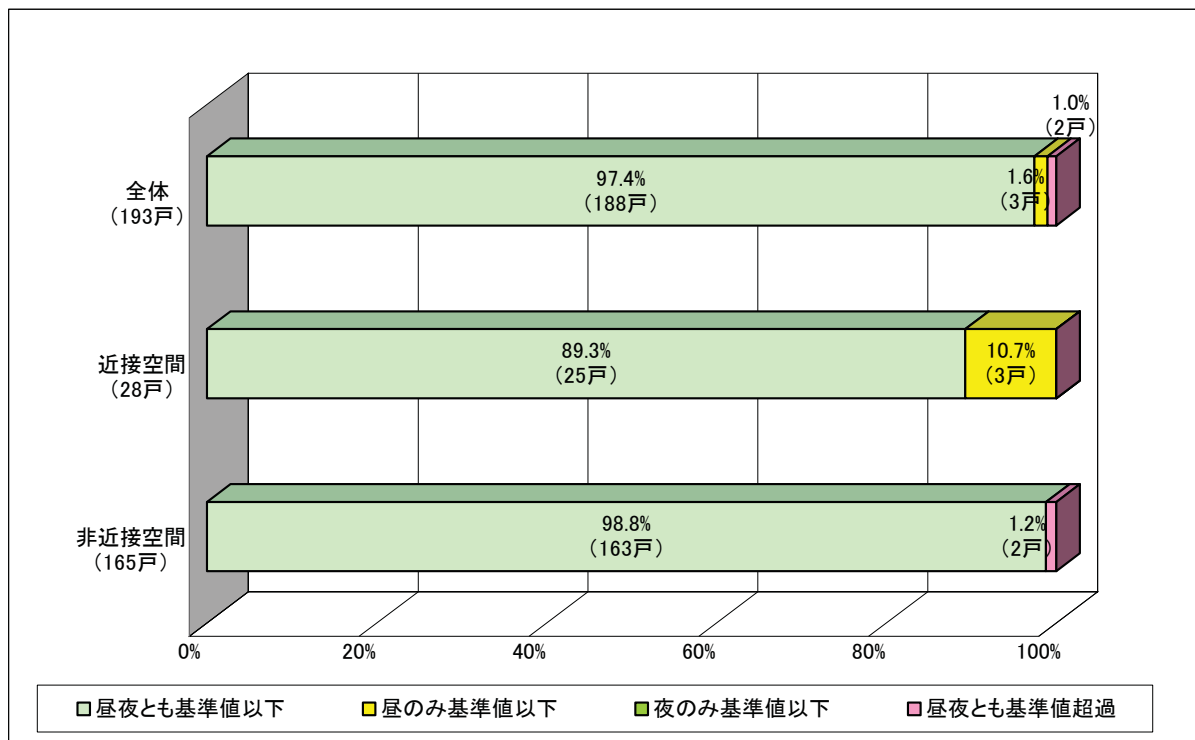


図 5 自動車騒音の面的評価結果（全体）

② 面的評価結果（評価区間別）

今年度の評価区間別の自動車騒音の面的評価結果は、表 10 及び図 6 に示すとおりである。
10130-1 区間、10140-4 区間、10150-1 区間は基準点騒音レベルが環境基準値を満たしており、100%という結果であった。

10130-2 区間と 10140-2 区間は基準点騒音レベルが環境基準値を超過しているが、沿道に住居等建物が少ないため、環境基準値達成率は 100%という結果であった。

10130-3 区間、10140-1 区間、10140-3 区間は基準点騒音レベルが環境基準値を超過しており、その影響で環境基準値達成率が相対的に低い結果であった。

表 10 自動車騒音の面的評価結果（評価区間別）

評価区間	面的評価結果(戸数)					面的評価結果(%)				
	評価対象 住居等 戸数	昼間・夜間 とも基準値 以下	昼間のみ 基準値 以下	夜間のみ 基準値 以下	昼間・夜間 とも基準値 超過	評価対象 住居等 戸数	昼間・夜間 とも基準値 以下	昼間のみ 基準値 以下	夜間のみ 基準値 以下	昼間・夜間 とも基準値 超過
	a=b+c+d+e	b	c	d	e	a=b+c+d+e	b	c	d	e
全体	193	188	3	0	2	100.0	97.4	1.6	0.0	1.0
一般国道19号	10130-1	21	21	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
	10130-2	29	29	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
	10130-3	4	3	1	0	0	100.0	75.0	25.0	0.0
	10140-1	9	7	2	0	0	100.0	77.8	22.2	0.0
	10140-2	29	29	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
	10140-3	10	8	0	0	2	100.0	80.0	0.0	20.0
	10140-4	6	6	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
10150-1	85	85	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	

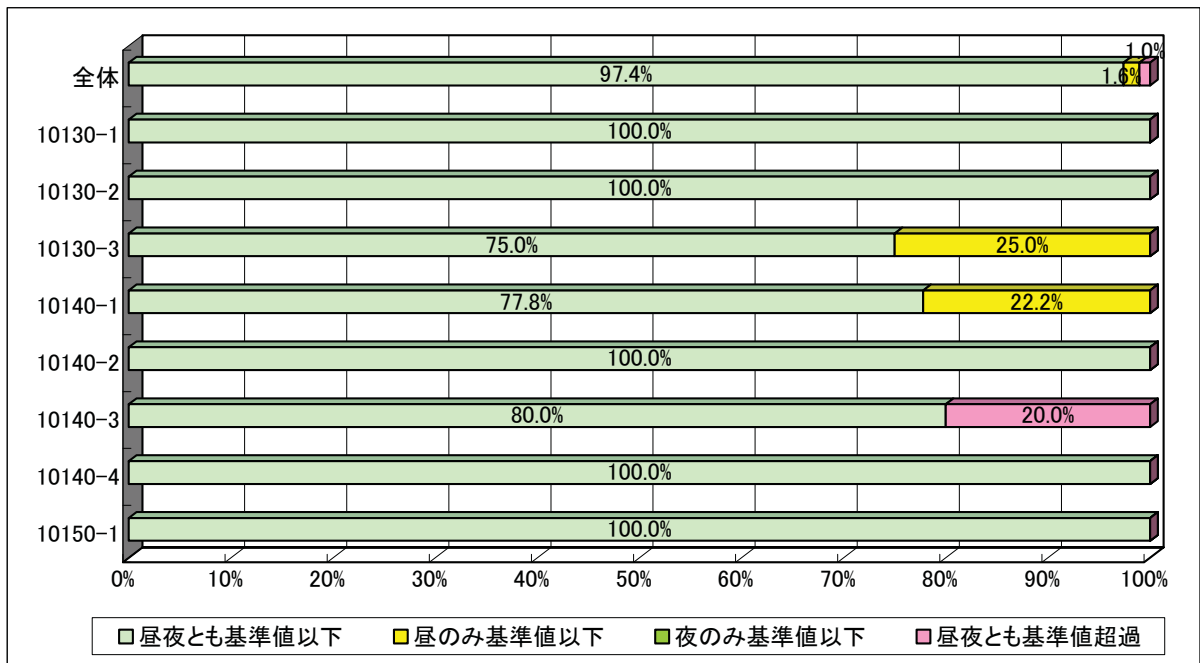


図 6 自動車騒音の面的評価結果（評価区間別）